

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 5月21日 (月)

2 確認箇所

- ・ 2号機原子炉建屋屋上
- ・ G3西タンクエリア

3 確認項目

- (1) 2号機原子炉建屋屋上の状況
- (2) G3西タンクエリアの連結弁の状況

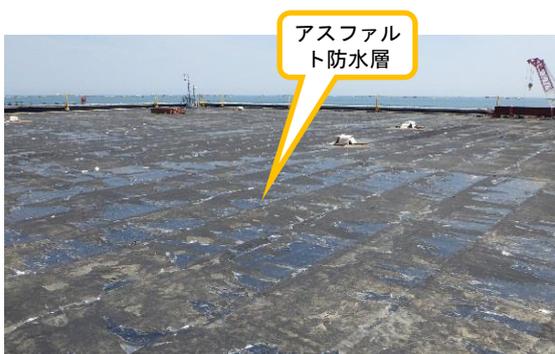
4 確認結果の概要

(1) 2号機原子炉建屋屋上の状況について

2号機原子炉建屋屋上においては、汚染物撤去を目的にルーフブロック等の屋根保護層撤去工事が行われていたが、当該工事が完了したことから、屋根保護層撤去後の状況を確認した。

- ・ 屋根保護層のルーフブロック及び敷砂は全て撤去されており、屋上一面に敷砂の下層のアスファルト防水層が確認できた。(写真1)
- ・ 屋根保護層撤去後の屋上の空間線量率(胸の高さ)は、屋上中央部を除いて約1.1~0.67mSv/時であり、撤去前と比較して概ね0.2mSv/時低減していた。(写真2)
- ・ なお、東京電力によると、原子炉建屋オペレーティングフロア中央部に高線量部があり、屋根保護層を撤去したことで、屋根保護層による遮へい効果がなくなって空間線量率が上昇したものと考えられるとのことであつた。

※参考 屋根保護層撤去前後の屋上中央部の空間線量率
撤去前：1.1 mSv/時→撤去後：1.9 mSv/時



(写真1)



(写真2)

(2) G 3 西タンクエリアの連結弁の状況について

本日（5月21日）11時20分頃、G 3 西タンクエリアにおいて、タンク間の連結弁に水がにじんでいることが発見されたとの情報があったことから、状況を確認した。

- ・にじみは3箇所連結弁で発生したが、現地確認時（12時50分頃）には、3箇所とも、パッキンの増し締めや拭き取りが終了しており、新たなにじみは発生していなかった。（写真3）



(写真3-1)

G 3 西タンクの堰内の状況



(写真3-2)

にじみが確認された連結弁の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。